



漁船乗組員による事故が多発！

11月から12月にかけて、漁船乗組員による負傷事故や海中転落事故が多発しています。

同種事故防止のため、事故概要及び事故防止対策を確認してください！！

操業中にバランスを崩し、海中転落…

11月下旬、事故者は漁船に単独で乗船し、宮城県石巻市の沖合において、前日に仕掛けたタコ籠を揚収していたところ、大きなうねりを受け、バランスを崩し、海中転落しました。

事故者は救命胴衣を着用し、自力で陸岸まで泳ぎました。

その後、事故者は救急車にて病院へ搬送されました。

事故当時の気象海象：晴れ、西の風1メートル、
うねり北東2メートル、視界良好、海水温度約14度



操業中にローラーに巻き込まれ、負傷…

12月上旬、事故者が乗船した漁船（乗組員5名）は青森県むつ市の沖合において、底建網の設置作業を行っていたところ、事故者はアンカーロープを巻取機で張り合わせるため、同ロープを跨ごうとした際、自身の右足首に同ロープが絡み、ローラーに巻き込まれました。

同船入港後、事故者は救急車にて病院へ搬送されました。

事故当時の気象海象：曇り、北の風2メートル、
うねり南南西1メートル、視界良好



事故が発生したローラー

事故防止対策



集団での操業



単独での操業を避け、2隻以上での**集団操業**を心がけましょう！



気象情報の入手



出港時はもちろんのこと、航行・操業時にあっても、**気象情報の変化**に注意しましょう！

荒天時は「出港しない」または「早めの帰港」の判断が重要です！

また、常に**周囲の状況**に注意を払いましょう！



漁労作業中の安全管理体制確立

予め作業前に**危険箇所**を乗組員全員で確認し、作業中は乗組員で**声を掛け合い**ましょう！
また、作業が安全に実施できる**人員配置**とし、安全管理体制を確立しましょう！



海中転落への備え



万一の海中転落に備え、**救命胴衣を着用**しましょう！
また、船上に上がるための梯子やロープを設置しましょう！



連絡手段の確保



無線や携帯電話により定期連絡を行いましょう！
携帯電話は**防水バック**等に入れ携行し、常に連絡手段を確保しましょう！



事故体感体験映像はこちらから！

漁業における事故の事例として、
事故再現映像及び事故を防ぐための対策が
わかりやすく紹介されています。

(映像元：水産庁)

「海中への転落」



「巻き込まれ」

